

相次ぐ自然災害

◆私の注目点

神奈川県民として、実際に見聞きし印象に残っている事柄はなるべく取り上げるようにした。国内外の社会情勢・世相を踏まえた年表にしたかったので「国内・国際」欄の充実に努めたが、「神奈川県」の年表としては項目の一番に挙げるより末に置くべきものかも知れないと思った。

「全国初」及び「県内初」を載せる一つの目安とした。

各首長選挙結果、国の文化財指定に関しては全て掲載した。裁判、条例については取り上げる基準が難しく迷うことが多かった。

◆こんな事がありました

新型インフルエンザの流行、東日本大震災と未曾有の出来事が起き、自治体も対応に追われた。東日本大震災以後、「災害時相互応援協定」の締結が増えたことを知り、自治体間の連携体制について興味を持った。また、多くの基地を抱える神奈川県では在日米軍とも市単位で災害に関する協力体制があることがわかった。東日本大震災では県内基地が「トモダチ作戦」の補給拠点になった。日本が人口減少に向かう中、県の人口が900万人を超え川崎市も人口増加が著しく、保育所待機児童が社会問題となった。駅直結の複合商業施設の開業が相次ぎ7施設に及んだ。ほとんどが自分の生活圏にあり、利便性の向上と駅前の変化を実感している。

◆年表作成を通して考えたこと・感じたこと

今回は担当の4年に集中してしましたが、それでも自分が「神奈川県でどのような時代を生きてきたか」について、年表作成を通じて考えることができた。薄かった県民意識も少し強まった気がする。東日本大震災については比較的被害の少なかった県の状況について記憶が薄れがちになっていることを踏まえ、将来の減災のためにもまとめておきたかった。

【キーワード】

- 東日本大震災
- 新型インフルエンザ
- 松沢県政→黒岩県政
- 林文子横浜新市長
- 川崎市人口急増
- 保育所待機児童最多
- 災害時相互応援協定
- 喫煙に関する条例
- 横浜開港150周年
- 駅近商業施設

【こんな資料を参考にしました】

『神奈川新聞』『朝日新聞クロスサーチ』『文化庁 国指定文化財等データベース』
『大和市の歴史』大和市文化スポーツ部文化振興課／編・大和市・2020年〈K21.55/18〉
(60825411)『検証・防災と復興3 災害に立ち向かう自治体間連携』五百旗頭真／監修・
ミネルヴァ書房・2017年〈369.31/473/3〉(22940589)